

# 世代応援プロジェクト

5/30

外部人材活用事業では、市内の小  
学校、中学校に通う児童・生徒たち  
を対象に、スポーツや芸術等の様々  
な分野において、専門性や技術性の  
高い講師をお招きし、知識や技能の  
向上、豊かな人間性を育む機会を提  
供しています。



本市(千代小学校)出身の作曲家であり、サックス・EWI(イーウィ:ウインドシンセサイザー)奏者でもある住友紀人さんが5月30日、千代小学校、和田島小学校を訪れ、音楽家の高瀬麻里子さん、ユーフォニウム奏者の近藤碧梨さんとともに、音楽の楽しさや奥深さを児童に披露しました。

サックスとユーフォニウムによる映画音楽の演奏、高瀬さんを交えて、童謡「夏の思い出」など児童になじみの深い音楽や校歌が住友さんの編曲で披露されました。いつも耳にしている音楽が、編曲次第で全く違った曲へと姿を変えることに児童は真剣な面持ちで興味深そうに聴き入っていました。

児童たちには、「今までに聴いていたピアノと全く違って聴こえた。」「一緒に歌えて楽しかった。」「歌声がきれいで泣きそうになった。」と、それぞれの心に本物の音楽が響いたようでした。

住友さんは「みんなは世界に一人しかいない特別な子どもです。自分の命も人の命も大切に、一日一日を新しい気持ちで大切に過ごしてほしい。自分に合った方法で、道を探してほしい。人との違いや個性を大事にして、失敗を恐れずどんなことにもチャレンジしてみてください。みんなの夢がかなうことを祈っています。」と児童にエールを送りました。



住友さんは作曲家として日本アカデミー優秀音楽賞をはじめ様々な賞を受賞されるなど、映画やドラマ、アニメなど幅広いジャンルの音楽で目覚ましいご活躍をされています。令和3年からは、小松島市ふるさとアンバサダーとして本市のPRにもご尽力いただいています。

6/3・4



6月3日、4日にサウンドハウスホール周辺で「わくわくみなとフェスタ」が開催され、2日間で延べ2000人以上の方が来場されました。ゲストイベントとしてコウケンテツさん(料理家)やたなかしんさん(画家、絵本作家)によるトークショー・絵本よみかかせをはじめ、辞書引き体験、新聞紙の切り抜き体験、知育ブロック玩具の体験や、就学前の児童を対象としたランドセル展示会、屋外では子ども体力測定などが行われました。

参加者は「来年小学校に入学。ランドセルを試すことができてよかった。実際に背負ってみるとイメージが違う。6年間使うものだからきちんと選びたい。」「(ランドセルの)ベルトの柔らかさなど専門的な話が聞けて良かった。」「辞書を初めて使った。楽しかった。」「(体力測定では)走るのが楽しかった。」「トークショーがためになった。」など、思い思いの時間を過ごしていました。

